

## I 調査の概要

### 1. 調査の目的

本会における役員・事務局組織のあり方、経改事業並びに一般事業のあり方等については、合併前から種々論議を重ねていたところであり、合併後1年は合併協議会で決定された方向性を堅持しつつ事業を展開してきたところであるが、合併後1年半が経過しており、平成20年度の事業計画策定に向けて、会員ニーズの再確認をすべき時期が来ていると思われる。

また、本年度各支部組織並びに事務局体制の若干の変更を実施したこともあり、その効果についても検証する必要があると思われるため今回の調査実施となった。

### 2. 調査対象及び実施方法

全会員を対象に宅急便により調査票を配布、郵送による返信を行った。データ集計は本所で行った。

### 3. 調査期間 平成19年9月

### 4. 調査の内容

組織並びに事業についての設問と合併による期待感の達成度を中心に以下のとおり項目について調査を行った。

- (1) 回答者の概要
- (2) 事務局体制改編について
- (3) 支部運営委員会体制について
- (4) 事務所の一元化について
- (5) 花火大会実施について
- (6) 産業祭実施について
- (7) 合併によって期待したものの達成度について
- (8) 自由意見

### 5. 調査票回収状況

調査票配布数	1,601
回答数	260
回答率	16.2%

## Ⅱ 調査結果の概要

### 1. 集計結果の概要

本調査の集計結果については、平成17年3月に実施した会員ニーズ調査（以下「17年調査」という。）と対比させながら報告を行った。

回答者については、回答率が低かったものの業種、規模とも概ね偏りはなく、全体の回答を推測できうるものと思われた。

本年4月から改編された支部組織並びに事務局組織については、その効果が顕在化するのには時間が掛かると思われると共に、また、会員の組織変更に対する理解度が不十分であり、今まで以上のPRの必要性が感じられた。

一般事業については、花火大会並びに産業祭について質問を行ったが、特に花火大会については地域性が明確に出た結果となった。

合併に期待する事項の確認では、上記同様その効果の顕在化に時間が掛かることもあり、「わからない」「回答なし」が顕著であった。

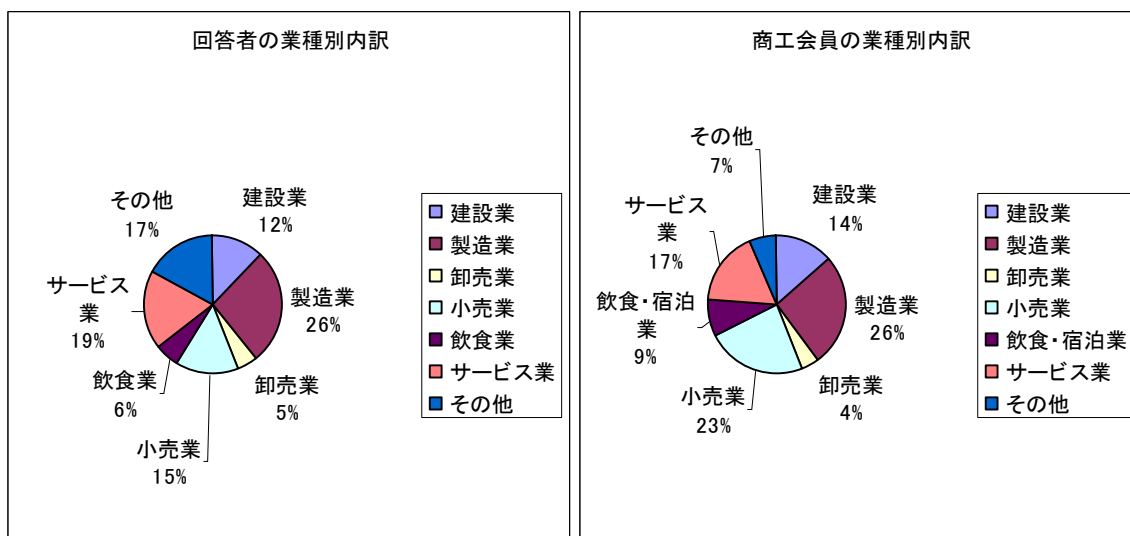
自由意見では、合併前から懸念されていた問題点が多く多くの会員から指摘され、合併商工会の難しさを浮き彫りにした結果となった。

17年調査では、集計結果に伴う提言を行ったが、提言部分について十分な理解が得られなかった感があったので、今回はあくまで現状を把握することを最優先とし、その後役員全員で今後の方向性を検討することとしたい。

## 2. 項目別集計結果

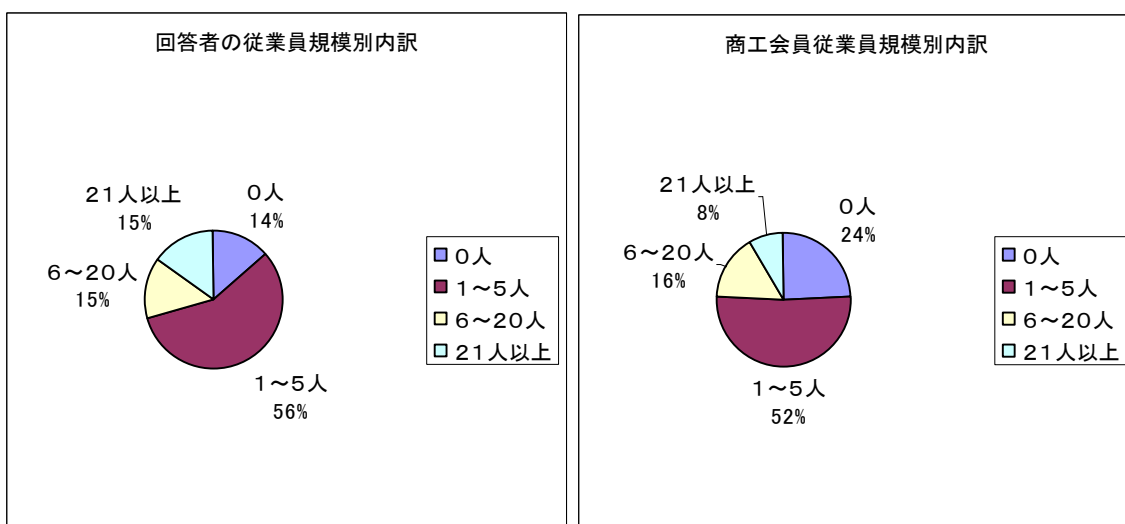
### (1) 回答者の経營業種

回答者の経營業種については、次図のとおりであり、特に偏りはなかった。



### (2) 回答者の従業員規模

回答者の従業員規模については、次図のとおりであり、特に偏りはなかった。



### (3) 回答者役員、一般会員の区別

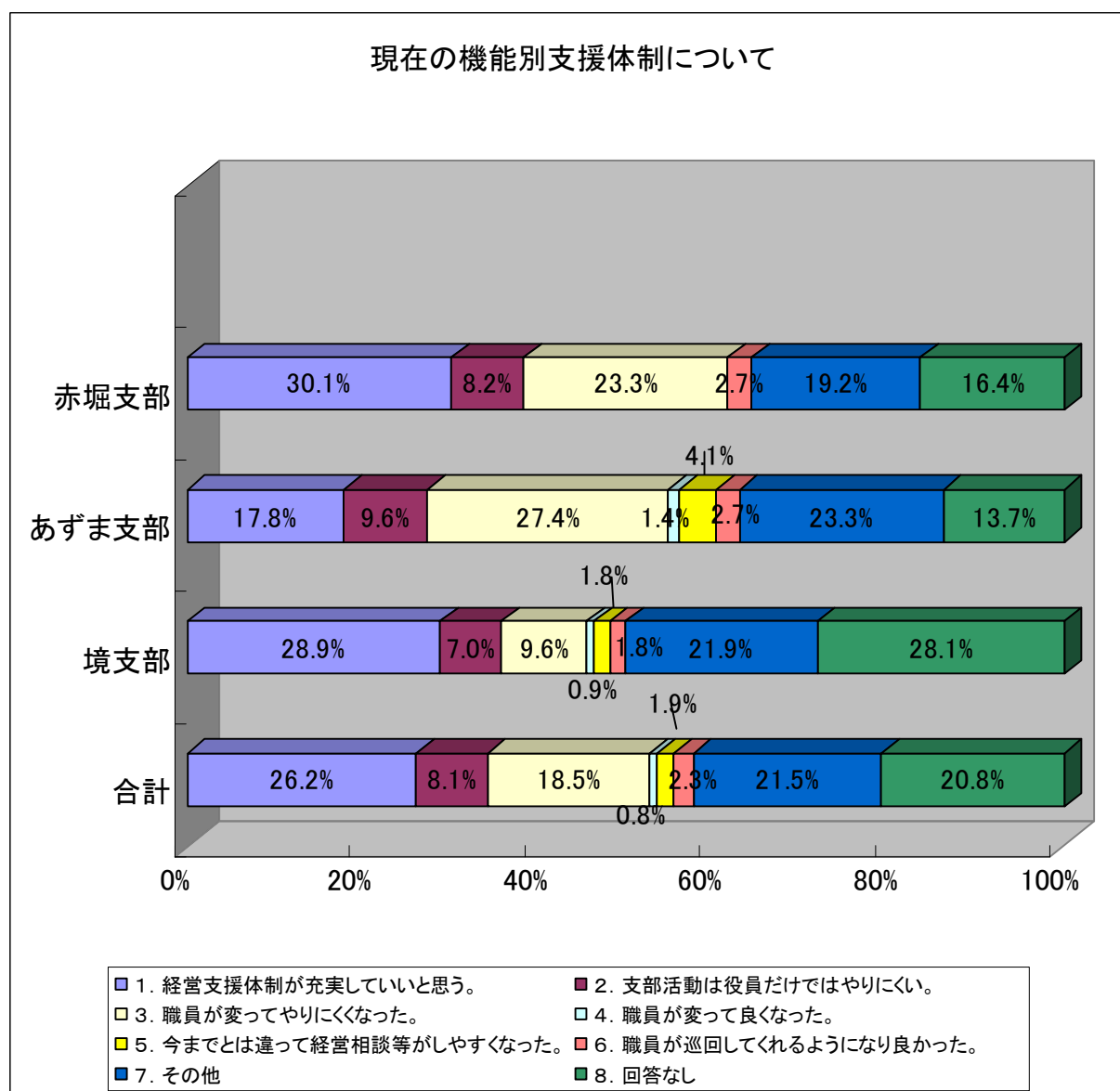
今回の回答者については、役員、一般会員の区別がつかない「回答なし」が63.1%もあったため、役員または一般会員であることのコロス集計は、あくまで「回答者」のみの数値とご理解頂きたが、数値だけ見ると役員の回答者数の少なさが目立つ結果となった。

(4) 現在の機能別支援体制について

平成19年4月から経営支援体制の充実を目指して、事務局体制を従来の「地域別支援体制」から「機能別支援体制」に改編したが、この新体制についてご意見を伺ったものである。

総体的には、「経営支援体制が充実していると思う。」が26.2%（回答数68）で、ある程度現在の体制が認められたものの、一方で「職員が変わってやりにくくなった。」との回答が18.5%（回答数48）であり、職員が変わることによる違和感が生じていることは事実であり、この傾向は特に赤堀・あずま支部が強いようである。

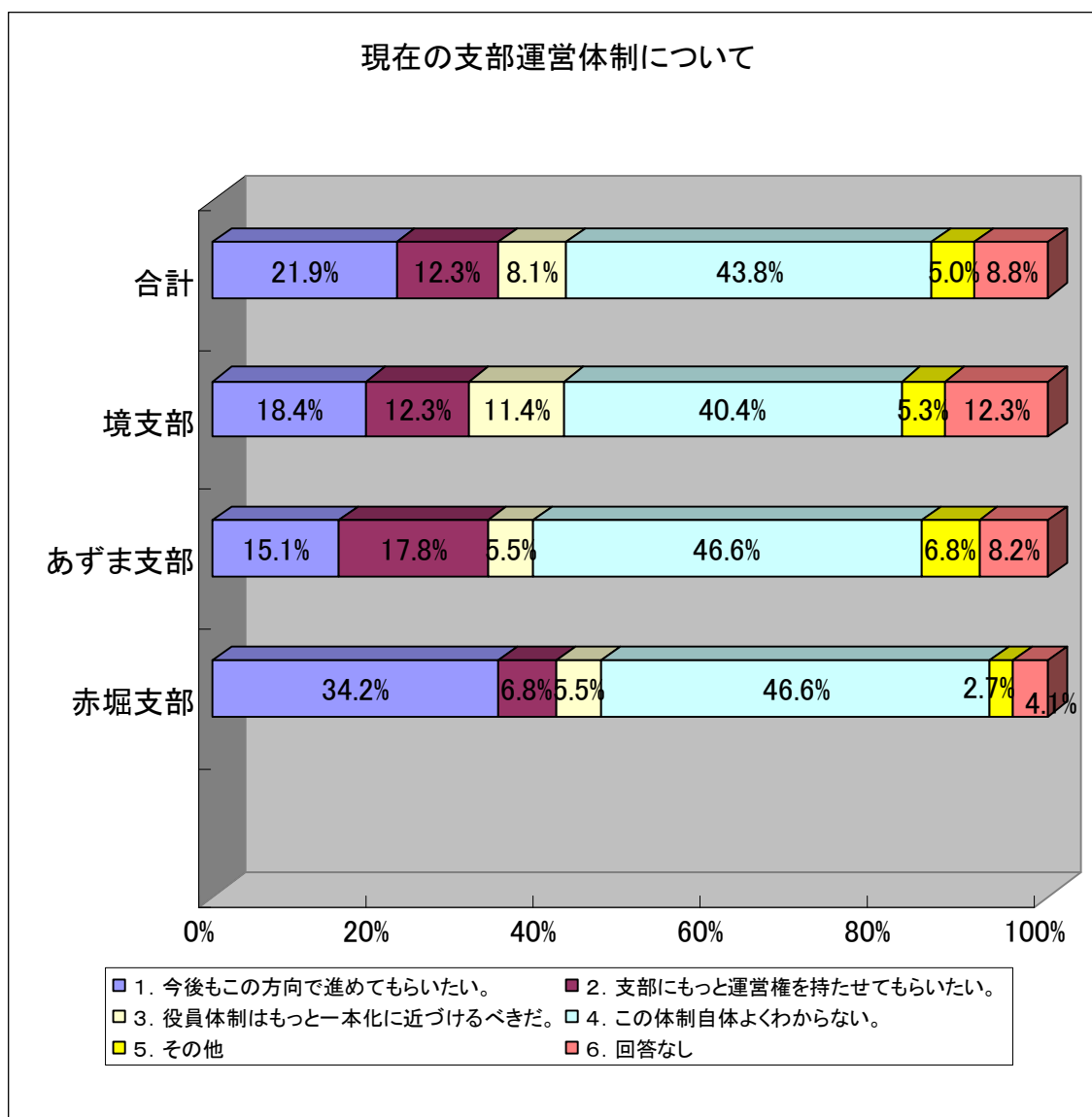
しかしながら、17年調査では約56%の方が「職員が変わると気軽に相談できなくなる。」と懸念していることからすると、「職員が変わることによるやりにくさ」より「経営支援体制の充実」の方が評価されているものと思われる。（次図参照）



(4) 現在の支部運営体制について

平成19年4月から、各支部の組織については「支部統括理事」を中心に、総代代表、総代副代表、支部運営委員が支部活動を支える体制となっているが、「この体制自体よくわからない。」との回答が第1位で43.8%（回答数114）もあった。

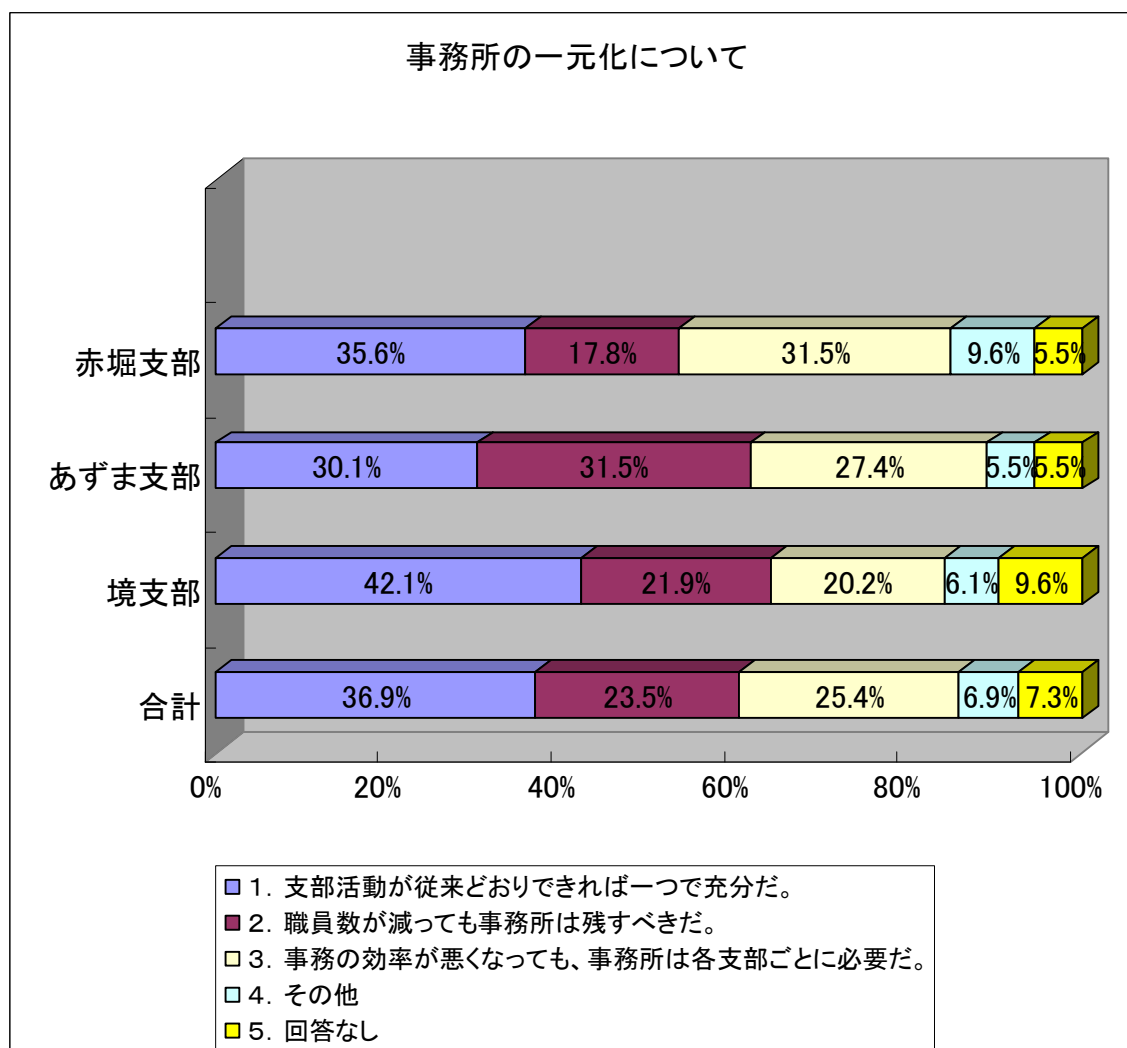
一方、「今後もこの方向で進めてもらいたい。」が第2位で21.9%となっていることから、今後PRを進めて行く必要があると思われた。（次項の図参照）



(5) 事務所の一元化について

来年度、事務所の効率化を目指し、事務所の一元化の検討が行われていることについての設問であるが、第1位が「支部活動が従来どおりできれば一つで充分だ。」で36.9%（回答数96）となっているが、第2位「職員数が減っても事務所は残すべきだ。」が23.5%、第3位「事務の効率が悪くなくても、事務所は各支部ごとに必要だ。」が25.4%

であり、「何らかの形で事務所は残す。」ことを多くの会員が望んでいることがわかった。  
この傾向は、一般会員よりも「役員」の方が強いようであった。(次図参照)



#### (6) 花火大会実施について

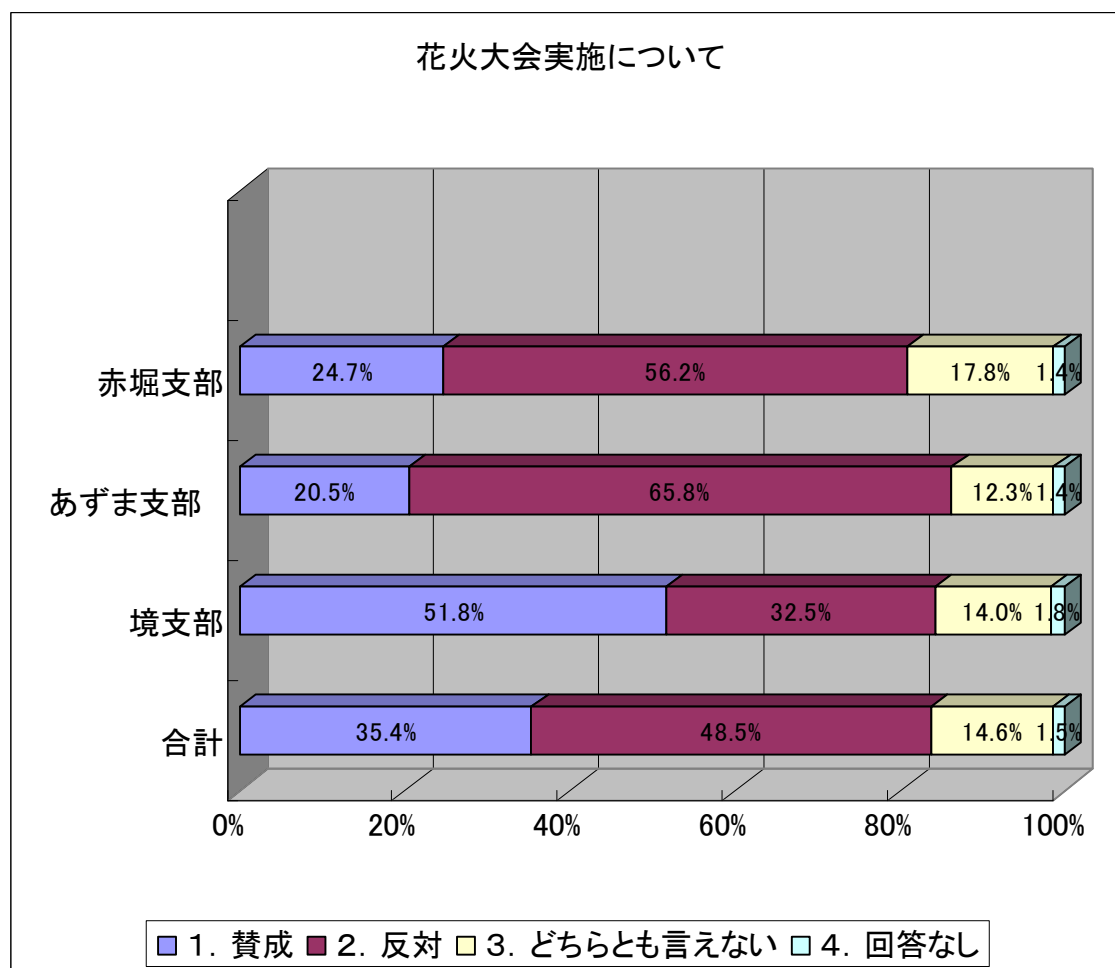
花火大会については、賛否両論あり、本会の事業運営に大きな影響を与える一大イベントとなっていることから、細かく設問を用意した。

まず、花火大会を実施することについて、「賛成」か「反対」かを聞いて見ると次のとおりであり、総体的に見ると「反対」が48.5% (回答数126)、「賛成」が35.4% (回答数92) となった。(次図参照)

17年調査では、花火大会に対する意見として、「見直しの必要がある」が33.3%、「現行どおりとする」が53.9%であったことから、合併後1度花火大会を経験して「反対」者が増えたものと思われる。

数値を地区別に見ると、境支部では「賛成」51.8% (回答数59)、「反対」32.5% (回答数37) であり、赤堀、あずま支部と比べると相当の意見の食い違いが見られ

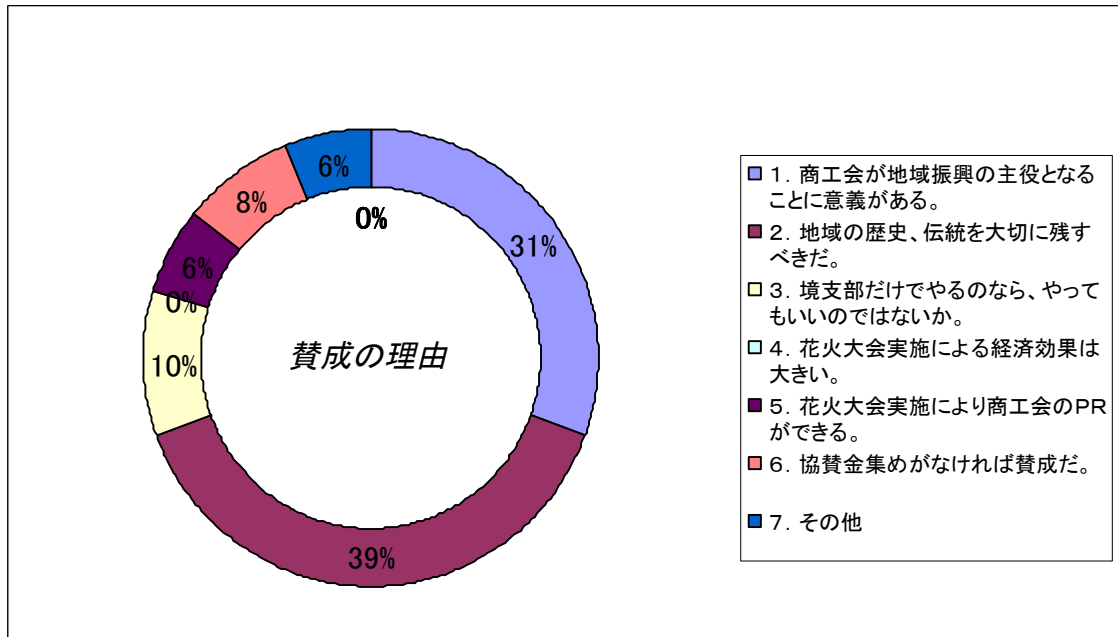
た。



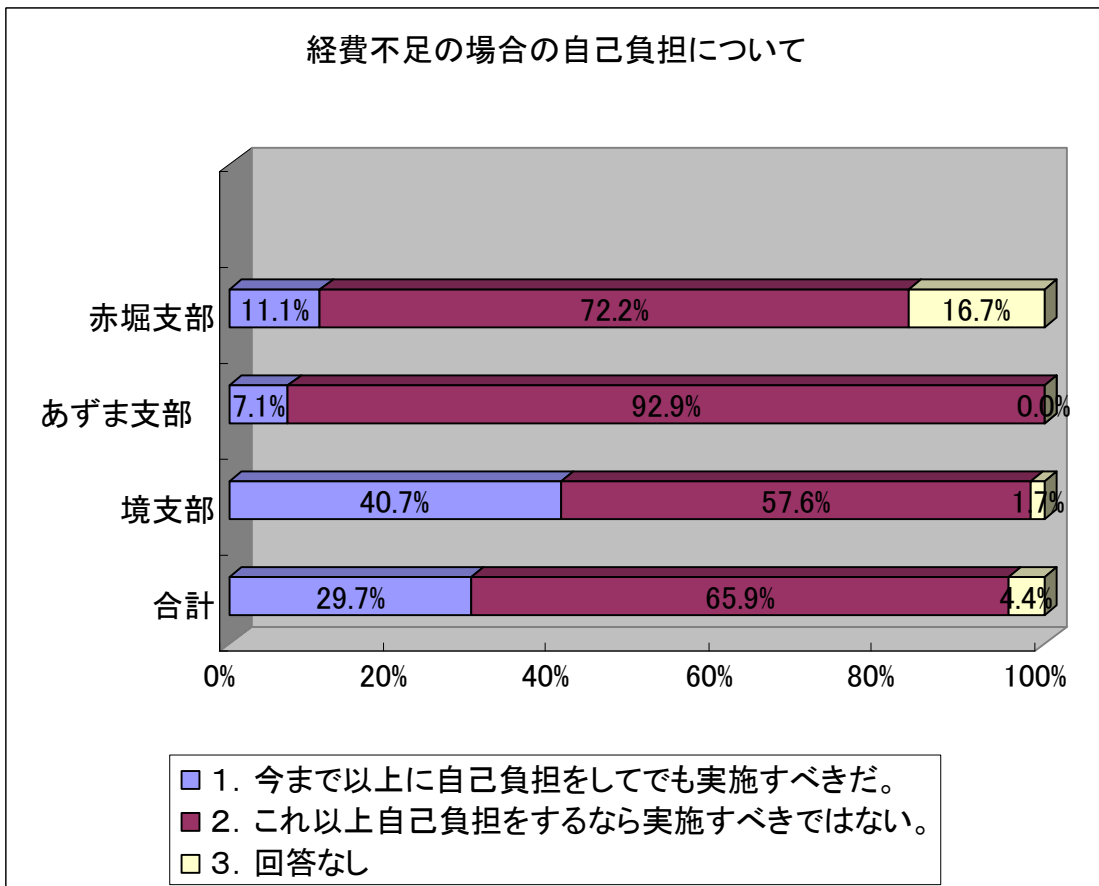
また、回答者が役員か一般会員であるかによる違いとしては、役員では58.6%（回答数34）が「反対」であるのに対し、一般会員では45.8%が「反対」（回答数87）となっており、「協賛金の集金」「前当日の手伝い」等の仕事がある役員の方が反対が多いようであった。

賛成の理由としては、「地域の歴史、伝統を大切に残すべきだ。」が第1位で38.8%（回答数19）、「商工会が地域振興の主役となることに意義がある。」が第2位で30.6%（回答数15）となっており、第3位が「境支部だけでやるのなら、やってもいいのではないか」10.2%（回答数5）であった。

この中で注目すべきは、「花火大会実施による経済効果は大きい。」との回答が一つもなかったということで、経済団体である商工会の会員が本大会による経済効果をあまり期待していないという実態がうかがえた。（次図参照）

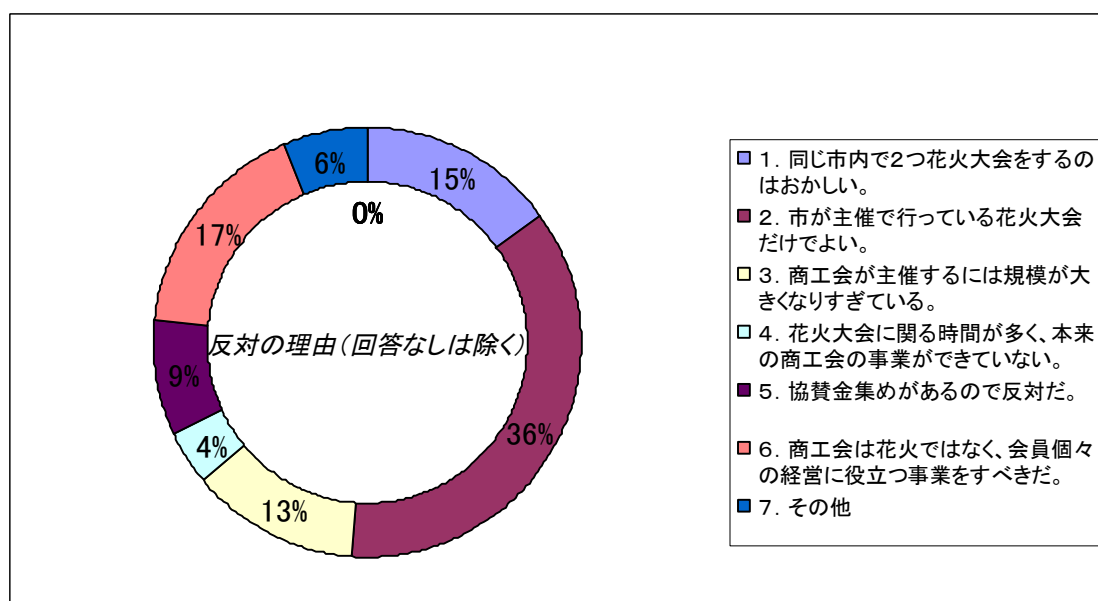


更に、「賛成」と答えた方で、「実施の際、経費不足の場合の自己負担増」について訊ねたところ、65.9%（回答数60）が「これ以上自己負担をするなら実施すべきではない。」と答えており、「協賛金」集めがネックとなっていることがうかがえる。（次図参照）



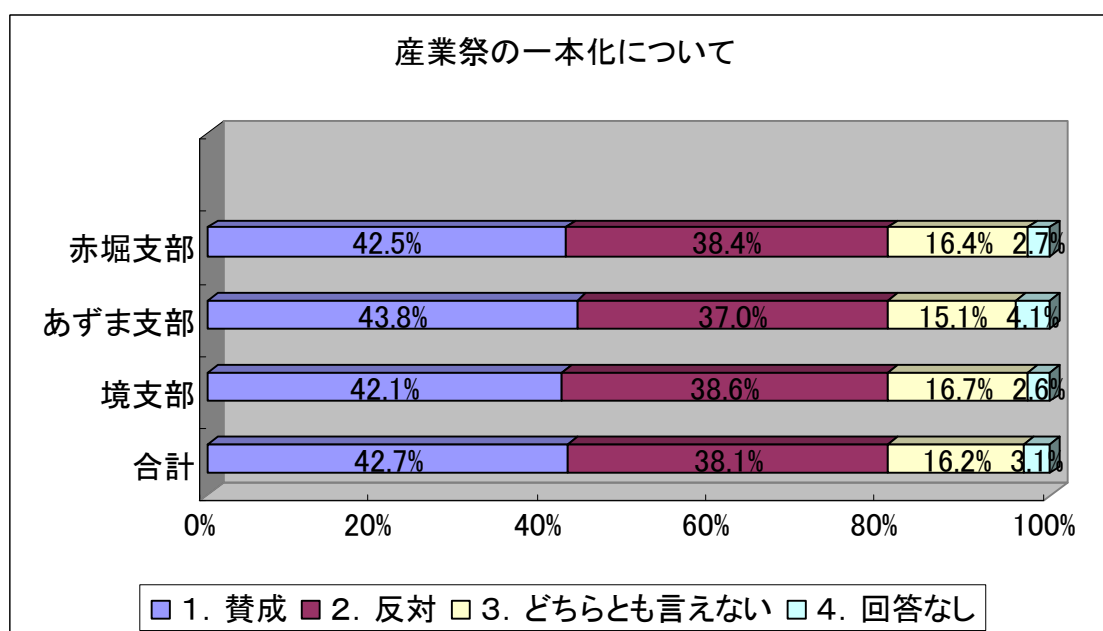


反対の理由としては、第1位「市が主催で行っている花火大会だけでよい。」が13.5%（回答数）、第2位「商工会は花火ではなく、会員個々の経営に役立つ事業をすべきだ。」が6.3%（回答数8）、第3位「同じ市内で2つ花火大会をするのはおかしい。」が5.6%（回答数7）であり、今後、市の花火大会との調整の必要性を感じられる結果となった。（次図参照）



#### (7) 産業祭の一本化について

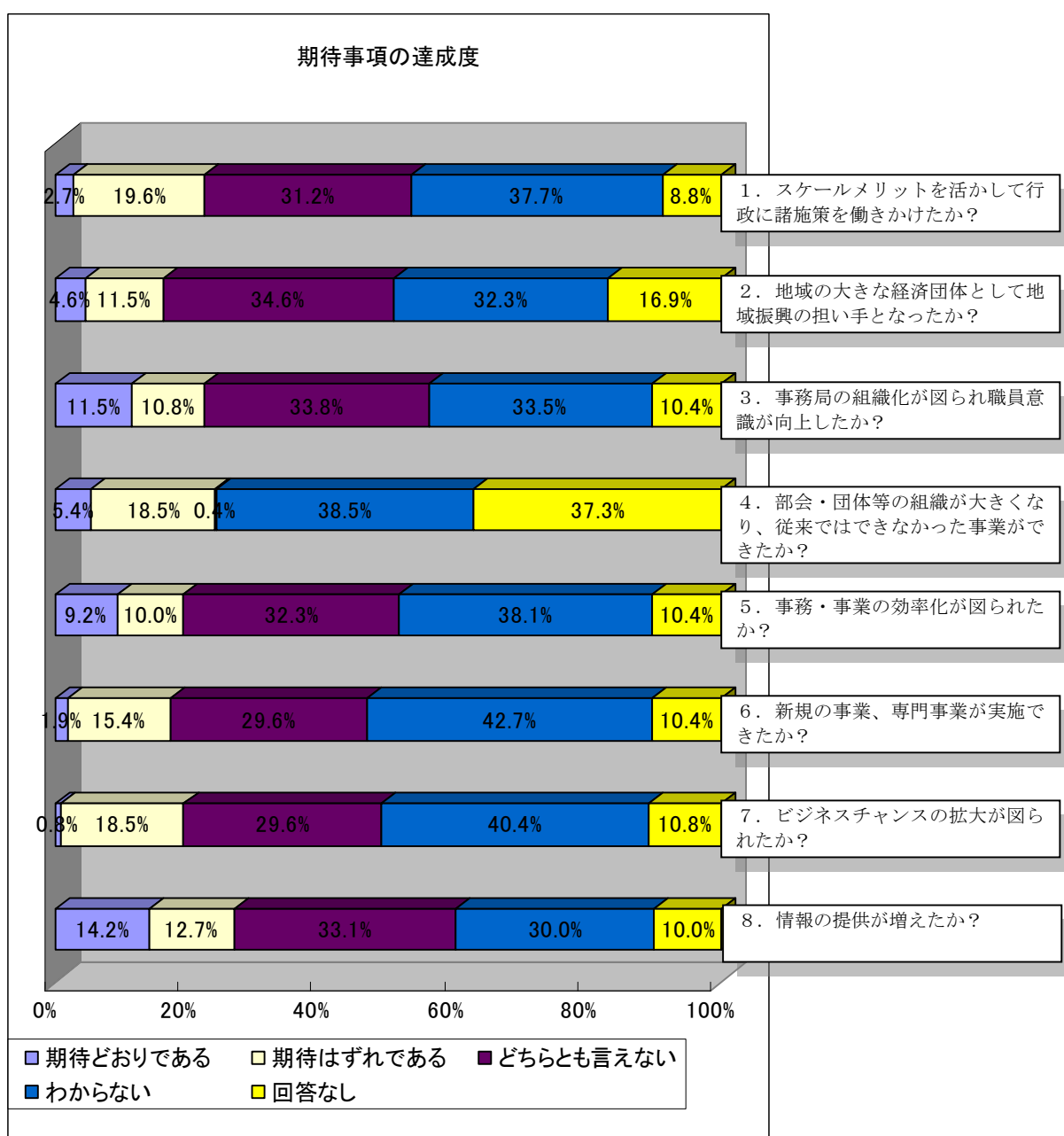
産業祭の一本化については、「賛成」42.7%（回答数111）、「反対」38.1%（回答数99）と意見が拮抗しているが、各支部ともそれぞれ「賛成」が若干多い結果となった。（次図参照）



一本化の場合の開催地としては、「伊勢崎市全体で一本化する。」が46.0%（回答数52）、続いて「赤堀、あずま、境の3ヶ所を順番で持ち回りにする。」が40.7%（回答数46）と、この二つが絞られたようである。

一方、一本化に反対の理由としては、「今までどおり各支部で開催してほしい。」が43.4%（回答数43）と特出している。

（8）合併時の調査で合併した場合に期待するものを調査し、本設問はその達成度を検証するものであったが、総体的には厳しい結果であり、各項目の達成度の低さが目立った結果となった。（次図参照）



8項目で、「期待どおりである」が「期待はずれである」を上回ったのは、「事務局の組織化が図られ職員意識が向上したか？」と「情報の提供が増えたか？」のみであり、特に「期待はずれ」が目立ったのは、「スケールメリットを活かして行政に諸施策を働きかけたか」と「部会・団体等の組織が大きくなり、従来ではできなかった事業ができたか?」「ビジネスチャンスの拡大が図られたか?」であった。

(10) 自由意見

自由意見欄には様々なご意見を頂戴したので、資料編で原文を掲載しました。

意見を大別すると、

- ①商工会の合併に対する反対意見
- ②零細事業者への配慮をもっとしてほしいとの意見
- ③花火大会に対する賛否の意見
- ④機能別支援体制に対する不満
- ⑤商工会組織に対する心配の声
- ⑥現在の機能別支援体制に対する不満 等であった。

17年調査で「合併した場合懸念されるデメリット」を再び示すと次図のとおりとなり、今回の自由意見には、これらの懸念が解消されていないことが痛感された。

